

翼

はあーる

- 「ありがとう！」
- 子どもたちから届いた声
- 図書プロジェクト報告
- 設立1周年！ 会員600名に



新しいカバンを背負って学校へ向かう

山の学校支援の会が無事、創立1年を迎えました。会員は600人を超え、目標である750人まであとひと息です。それにともない、実務も増えてきましたが、東京の15人(他に大阪2人)の運営委員が図書の選定・発送、会報作り、会計、広報と作業分担をし、切り回してくれています。全国から励ましの声もたくさんいただいております。うれしい限りです。

今回、お届けする4号では、山の学校の子どもたちが書いてくれたお礼の言葉が載せられています。あかぎれでがさがさになった手で、あるいは覚えてたの字で一生懸命、書いてくれた文章です。私たちはこの子たちを通してアフガニスタンの現在と未来に関わっていきたくないと願っています。

現地は3月21日から新年となります。長かった冬休みが終わり、新学期を迎えて、元気いっぱいに登校してくる様子が目に浮かびます。みんなはどのくらい大きくなったかな、今年の1年生はどんなだろう……。そんなことを思いながら、私は間もなくアフガニスタンに向かいます。次号では、1年ぶりの子どもたちの様子を、皆様にご紹介する予定です。

家の手伝いをすませると、山路を駆けるように学校に通ってくる子どもたち、その子たちが自由に遊ぶことのできる運動場や世界の音楽を聴けるような授業を受けさせたい、小さな図書室を作りたい……。地域のおとなたちと一緒に加わってもらいながら、そんな夢を時間がかかっても実現させられればと思っています。これからも皆様の温かいご支援とご声援をよろしくお願いいたします。

2005年3月

長倉洋海

نوشتہ ہستہ از شخص سید اللہ

آپڈرل سٹارٹل (4年)

みなさんのことが大好きです。

サメオッター (2年)

プレゼントがうれしい!

以下、子どもたちのメッセージを一部ご紹介します。「プレゼントが届いて、すごくうれしかった」(2年スーサン)、「ボールも服も届いたよ、ありがとう!」

「3年タマンナー」、「冬服が手元に届き、とてもうれしかった」(3年ワスイーゴツラー)と、プレゼントを受け取って笑顔いっぱいの子どもの様子が目に浮かびます。「みなさんから学校への贈り物がこれからもどうか続きますように」(2年モハンマドアーセム)、「これからも文房具を送ってください」(6年ツィラーゾツティーン)、「贈り物、ほんとうにありがとう! いつまでも支援が続きますように」(5年ザミール) など、なんとしても10年間支援を継続しなければと、あらためて決意を固めさせてくれる言葉も並びます。そして「私も家族も感謝の言葉をみなさんにいっぱい言いたいです」(3年ヤーサミーン)、「人類愛にあふれた日本のみなさんの親切がうれしいです」(5年アブドルマティーン)、「ボーランド小学校のみんなが、みなさんの親切に大喜びです」(3年ファリダ)、「みなさんのあつたかい愛をありがとう」(3年サミール) など。喜ぶ子どもたちの姿を思い浮かべるだけでうれしくなり、支援する側の私たちもこの子たちからたくさん喜びをもらっていることを実感します。

昨年12月、子どもたちの寄せ書きがカプルー在住の安井さんを通して送られてきました。これまで会が文房具やボール、手袋などを送り届けてきたことへのお礼の言葉が、学年や名前とともに大きな一覧表に書き込まれています。当然ながらすべてダリ語で、悲しいことにまったく読めません。ダリ語に詳しい方々にお尋ねしても、手書きの文字はお手上げとの返事。日本語もできてダリ語の筆記体を読める人がなかなか見つかりません。ペルシヤ語(ダリ語とほぼ同じ)古文書研究の専門家の方にもお聞きしましたが、癖があるため読みにくいとのこと。困り果てた時に、イラン滞在が長く、現在は大学でペルシヤ語を教えておられる角田ひさ子さんをご紹介いただき、早速翻訳をお願いしたところ、快く引き受けてくださいました。

寄せ書きにあふれる たくさん「ありがとう!」



「ありがとう!」子どもたちから届いた声

「3年タマンナー」、「冬服が手元に届き、とてもうれしかった」(3年ワスイーゴツラー)と、プレゼントを受け取って笑顔いっぱいの子どもの様子が目に浮かびます。「みなさんから学校への贈り物がこれからもどうか続きますように」(2年モハンマドアーセム)、「これからも文房具を送ってください」(6年ツィラーゾツティーン)、「贈り物、ほんとうにありがとう! いつまでも支援が続きますように」(5年ザミール) など、なんとしても10年間支援を継続しなければと、あらためて決意を固めさせてくれる言葉も並びます。そして「私も家族も感謝の言葉をみなさんにいっぱい言いたいです」(3年ヤーサミーン)、「人類愛にあふれた日本のみなさんの親切がうれしいです」(5年アブドルマティーン)、「ボーランド小学校のみんなが、みなさんの親切に大喜びです」(3年ファリダ)、「みなさんのあつたかい愛をありがとう」(3年サミール) など。喜ぶ子どもたちの姿を思い浮かべるだけでうれしくなり、支援する側の私たちもこの子たちからたくさん喜びをもらっていることを実感します。

محمد طارستو

モハンマドターレグ (1年)

ماخوس سوم

うれしかった!

دل آغا

デルアーガー (3年)

نوب



ボール、どうもありがとう!



寄せ書きを囲んで。長倉代表(中央)と、比留川副代表(左)、塩野副代表

父親がいない子どもたち
また、今回一緒に送られてきた資料から、全生徒139人中、なんと3分の1を超える48人の子どものために父親がいないということがわかりました。その多くは数年前まで続いた戦争で亡くなったのだと思われまます。私たちのささやかな支援が、少しでも子どもたちへの励みになればと願ってやみません。
最後に学年別生徒数(20004年11月現在)をご報告します。6年(12人)、5年(15人)、4年(20人)、3年(37人)、2年(37人)、1年(18人)です。なお、男女別の数や名前の適切なカナ表記(※)などは、長倉代表が現地で照合してくる予定です。
(森 桂子)

سید اللہ

マスイーホッター (3年)



شکر امیر الدار مارا ملک کنید

ありがとう、どうかぼくたちを支援してください。

事務局から

- 「会費」と「寄付」について 本会の活動は2004年2月〜2014年3月の10年間とされています。この間に支援くださった会員の「会費(支援金)」を3万円と定め、入会時に一括払いが分割払いをお選びいただけます。「会費」は年会費ではなく10年間で3万円です。なお分割払いの方は入会時から2014年の間に継続してお支払いください。「寄付」につきましては、あくまでも任意でお願いしており、金額はいくらからでも大変ありがたい、随時お受けしています。また会員ではなくても、ご寄付くださった方へは会報を限定回数分お送りしています(3万円以上の方へは2014年まで)。
- 会員証をお送りしました 2005年3月10日までに入会された方へは今回のばあに同封しました。昨年11月30日までにご入会の方へは、既に前号に同封してお送りしましたが、お手元に届きましたでしょうか。もし届いていない場合は、お手数ですがご一報ください。なお今年3月10日以降に入会された方へは次号以降のばあに併せてお送りします。
- 子ども用手袋・靴下ご提供のお願い 昨年夏にご提供をお願いしました子ども用冬物衣料につきましては、多くの方のご協力をいただき心より感謝しております。子どもたちもとても喜んでいただいておりますので、今年もぜひ送りたいと考えています。ただし、今回は手袋・靴下等の小物に限定させていただきます。カプルーの安井さんからの「上着は現地で購入した方がよい」とのアドバイスや、大物衣類の送料負担の大きさ等、昨年の反省を踏まえた結果です。詳細は後日改めてお知らせしますが、今から少しずつお心掛けいただければありがたいと思います。
- アンケートにご協力ください 本会も設立から1年が経ちました。改めて皆さまのご意

贈った日本語絵本の一部。選書は大変ですが、
いちばん楽しい作業でもあります



手間は考慮し、文字の少ない絵本を選んで購入しました。翻訳作業は、ペルシャ語と使用文字が同じアラビア語を話す唯一のスタッフが、辞

書とにらめっこしながらシールに訳を手書きし、何百という言葉を端からページに貼り付けていく大変な作業でしたが、『地球人記』をはじめとする12冊をなんとか仕上げ、第1回の発送を終えました。第2回は昨年12月。この時は訳語の必要がない見て楽しめるもの、そして授業にも役立ちそうな図鑑や仕掛け本を中心に選び、「人体模型本」など54冊を発送。予算を考慮し船便を利用しましたが、予定どおり3月にカプールの到着が、これも代表の手によって子どもたちに届けられます。ペルシャ語の本が手に入った！

昨年夏、まずは日本語の絵本にペルシャ語訳を付けて送り出そうということになり、選書からスタート。「世界の子どもの知ってもらえるように」、「日本のことを質がいいものを」という写真家ならではの希望も取り入れつつ、一方で翻訳の

を訪れた会員の方からご連絡をいただき、イラン製の本を見せていただく機会がありました。実際に色彩豊かで内容も良く、なにより子どもたちが読めるペルシャ語というので、今回からイランの本も送ることにしました。今後もリサーチを続け、さらにペルシャ語の本の入手経路を確保していきたいと思っています。

まず本選びからスタート
まず本選びからスタート
まず本選びからスタート

さで、気になる子どもたちの反応ですが、これは次回にご報告を予定しています。ふだん本と接する機会の少ないアフガニスタンの子どもたちには、まず慣れることに多少時間がかかるのではというのがカプールの安井さんの見解です。少しづつでもいいから、たくさん本と

今年3月5日、子どもたちへ贈る本44冊を、けん玉やコマといった日本のおもちゃと共にカプールの発送しました。その後現地に到着する長倉代表がカプールからポーランド村まで持っていく予定です。これで図書発送は3回目となり、贈った本の数は全部で110冊になりました。

おかげさまで設立1周年を迎え、3月1日現在で会員が620名となりました。1年間の活動を振り返って試算した結果、全体で約750名のご支援があれば、今後10年間の活動が安定したものになると見込めます。今後とも活動の輪が広がるよう、皆様のご協力をお願いいたします。

図書プロジェクト報告

設立1周年！ 会員600名に

出会い、世界のいろいろなことを学んでほしい。そんな願いを込めて今後もプロジェクトを続けていきたいと思っています。

見やご感想をうかがい、今後の活動の参考にさせていただきます。アンケート用紙を同封いたしましたので、どうぞご記入の上、事務局までご返送ください。受付締切は4月30日です。よろしくお願いたします。結果につきましては、ばあーる誌面等でご報告させていただきます。

●新「アフガニスタン山の学校支援のお願い」をご活用ください。これまでの「支援のお願い」と「入会申込書」をひとつにした新しいチラシを作りました。本会の紹介にご活用いただければ幸いです。さらに必要な場合はお送りいたします。

●書き損じハガキ・お使いにならない切手を募集中！ご家庭に書き損じハガキや使わずに眠っている切手はありませんか？よろしければ事務局宛てにお送りください。会報の発送やご寄付くださった方へのお礼状、支援物資の輸送費などの一部に使わせていただきます。経費の削減に役立てたいと思います。

第2回総会開催決定!!

【日程】9月10日(土)あるいは11日(日)

【会場】未定(東京都内)

- 日程は使用する会場によって変更することがあります。
- 詳細を決定し次第ホームページなどでお知らせしますが、正式のご案内は8月1日発行予定の次号ばあーる誌上となります。

■ 都道府県別会員数 (3月13日現在)

北海道	123	東京	205	滋賀	2	香川	0
青森	2	神奈川	36	京都	9	愛媛	1
岩手	0	山梨	0	大阪	90	高知	0
秋田	0	新潟	1	兵庫	10	福岡	7
宮城	2	富山	0	奈良	1	佐賀	0
山形	0	石川	0	和歌山	8	長崎	0
福島	1	福井	1	岡山	22	熊本	1
茨城	1	長野	8	広島	5	大宮	1
栃木	0	岐阜	1	鳥取	0	宮崎	0
群馬	5	静岡	18	島根	0	鹿児島	0
埼玉	32	愛知	11	山口	0	沖縄	1
千葉	11	三重	1	徳島	1	海外	1
						合計	620

「山の学校の会」ホームページでは、活動についての最新情報を掲載、随時更新しています。また、入会や寄付のご案内や、メディアに取り上げられた本会に関する記事、かわいい子どもたちの笑顔が満載の写真集「山の学校ギャラリー」など、会報誌面ではご紹介しきれないトピックをたくさんご用意しています。どうぞご覧ください！

最新情報はホームページで！！
www.h-nagakura.net/yamanogakko



「こんな情報が知りたい」「もっとこうしてほしい」など、ホームページについてのご意見やご感想も大歓迎です

ポストカード販売中

「山の学校シリーズ第1集」

子どもたちの成長と本会活動の記録としてポストカードを作りました。今のところ報告会などで販売する以外は、郵送での販売となります。ご不便をおかけしますが、どうぞこの機会にお買い求めください。今後シリーズとして定期的には作っていく予定ですので、コレクションとしてもお楽しみいただけます。※収益金はすべて会の活動費に充てられます。

3枚1セット 500円

※2セットよりご注文を承ります。

【購入方法】

郵便局より、ポストカード代金に送料を足した合計金額をお振り込みください。

●代金 (500円×セット数) + 送料 (表参照) = 合計金額

●振込先

口座名義 (加入者名)
アフガニスタン 山の学校支援の会
郵便振替口座番号 00160-1-667404

通信欄に、1)「ポストカード ○○セット希望」、2)郵便番号・ご住所・お名前・電話番号 (連絡の取りやすい番号) を明記してください。お振り込みを確認し次第、できる限り早く郵送しますが、場合によってはお届けまでにある程度の日数を要することがありますので、その点はご了承ください。



表の写真はすべて長倉洋海撮影、裏面には本会ロゴが入ります

セット数	送料
2~3	90円
4~6	140円
7~9	200円
10~15	240円
16~20	390円

アフガニスタン まめ知識

チェトゥル ハステイド?
(お元気ですか?)

国の面積が日本の約1.7倍で、4~5000m級の山脈が中央を連なるアフガニスタンは、テレビなどで目にする褐色の山肌、ゴツゴツした岩、砂などから、乾いたイメージを持たれがちですが、高度の低い山や渓谷にはさまざまな樹木が生い茂り、野生のバラやスイカズラなどの花があふれています。また、一日のうちでも極端に変化する気温が特徴的で、明け方は4~5℃でも日中には38℃ (!) ということもあるそうです。

山の学校のあるポーランドの気候は、日本でいうと盛岡辺りといえます。

夏は28~30℃ぐらいですが、乾燥しています。冬は雪も積もり厳しい寒さになります。その間、学校も冬休みとなります。

そのポーランドも今は春。きっと子どもたちは今日も、芽吹き出した草木の中を学校に向かって一目散に駆け抜けていることでしょう。

語そう! タリ語

エスメ マン ハナコ アスト
「私の名前は花子です」

اسم من حاناکو است ←

マン ジャーパニ ハスタム
「私は日本人です」

من ژاپنی هستم

ポーランドの 小さな仲間たち



ザミラちゃん
(11歳) 3年
好きなもの ● テレビ
将来の夢 ● 医者



シェプールくん
(8歳) 3年
好きなもの ● ビデオ
将来の夢 ● 大臣



シャケールくん
(10歳) 3年
好きなもの ● 花
将来の夢 ● エンジニア



モハマッド・ハーンくん
(10歳) 3年
好きなもの ● 映画
将来の夢 ● 大統領

※年齢と学年は撮影当時(2004年4月)のものです

長倉洋海の今後の活動

- ~5月10日
写真展「地球一ぼくらの大地」
安曇野ひろひる美術館
電話 0261(62)0772
- 4月8日~5月5日
写真展「長倉洋海の見たシルクロード」
紀伊國屋書店
札幌本店ギャラリー
電話 011(231)2131



アフガニスタン 山の学校支援の会
〒187-0032
東京都小平市小川町 1-1071-15 比留川 気付
FAX / 留守番電話: 042-345-7805
URL: www.h-nagakura.net/yamanogakko
郵便振替口座: 00160-1-667404

編集 ● 岩動 柴 小島 崇 広
佐々木 瑞紀 林 道子
題字 ● 近藤 理恵
印刷 ● (有) アドタック

次号の発行は2005年8月を予定しています。本会や小誌『翼』は「あー」への皆様からの「意見・感想」をお待ちしております。左記連絡先までお寄せください。

「アフガニスタン山の学校支援の会」は、写真家・長倉洋海が取材活動を通じて出会った、パンシール深谷ポーランド村の子どもたちの教育支援を目的として設立された非営利の団体です。2004年2月に設立、以後2014年3月までの約10年間にわたり活動を続けていきます。